

技)の拡充に努めた。

また、指導者の養成を図るため中央講師招へい指導者講習会(39競技・各3名)、競技別指導者講習会(20競技)、ジュニア指導者講習会(22競技)の事業を推進した。

更に、本県企業における競技スポーツの一層の振興と成年層の競技力向上を図るために「福島県企業スポーツ連絡協議会」が県内企業52社1団体で設立された。

なお、昭和63年度競技力向上対策推進の経過は下記のとおりである。

63	5	24	第1回普及強化部会において昭和63年度事業計画とその推進について検討
63	6	7	第1回総務企画部会において昭和63年度事業計画等を審議
63	6	8	本部委員会において昭和63年度事業計画、歳入歳出予算等を決定
63	6	9	競技団体に対し昭和63年度福島県競技力向上対策事業等について説明会を実施
63	6	17	
63	6	23	福島県企業スポーツ連絡協議会設立準備委員会を開催
63	7	28	少年・少女スポーツ教室を開催 (6競技・6市1町)
63	8	9	
63	8	11	競技団体と平成元年度事業についてヒアリングを実施
63	9	20	
63	9	29	福島県企業スポーツ連絡協議会設立総会・第1回総会を開催
63	10	5	第2回普及強化部会において平成元年度事業計画を検討
63	11	10	中央講師招へい指導者講習会を開催
63	12	26	少年・少女スポーツ教室を開催 (7競技・5市1町)
64	1	6	
元	1	30	競技団体と昭和63年度事業反省・平成元年度事業についてヒアリングを実施
元	2	3	
元	2	14	第3回普及強化部会において昭和63年度事業実績及び平成元年度事業計画(案)について検討
元	2	15	第2回総務企画部会において昭和63年度事業実績及び歳入歳出決算(案)等を審議
元	2	16	企業スポーツ連絡協議会幹事会において推進計画(案)等について協議
元	3	25	少年・少女スポーツ教室を開催 (1競技・1市)
元	3	26	

第8節 体育施設

1 体育施設の管理及び利用状況

県営体育施設の効率的活用と施設管理の万全を期し、もって地域スポーツの振興を図るため、当該施設設置市町村等に管理を委託した。

(1) 施設管理一覧

施設名	所在地	管理方式	管理受託者	摘要
福島体育館	福島市	事務委託	福島市	昭和49年4月1日より
福島体育館附属合宿所	〃	〃	〃	〃
郡山総合体育館	郡山市	〃	郡山市	〃
会津体育館	会津若松市	〃	会津若松市	〃
原町体育館	原町市	〃	原町市	昭和56年4月1日より
白河体育館	白河市	〃	白河市	昭和58年7月1日より
荻野漕艇場	高郷村	管理委託	高郷村	昭和51年4月1日より
南会津野外活動センター	田島町	〃	田島町	〃
猪苗代スキー場	猪苗代町	〃	猪苗代町振興公社	昭和59年4月1日より
相撲場	福島市	直営	-	
土湯スケート場	〃	〃	-	

※ 事務委託(地自法第252条の14第1項)
管理委託(地自法第244条の2第3項)

(2) 施設の利用状況

施設の利用状況は、次のとおりである。

施設名	利用人員等	摘要
荻野漕艇場	漕艇 2,895隻	
野外活動センター	宿泊施設 1,247人	
	キャンプサイト 353張	
猪苗代スキー場	スキーセンター 694人	
	スキーリフト 79,538人	
相撲場	390人	
土湯スケート場	0人	臨時休場